



初谷溪谷クマガイソウと大阪大学総合学術博物館のご案内

絶滅危惧種の山野草、クマガイソウの群生を初谷溪谷で見ることができます。自然保護活動をされている地元の方の保護活動で全国でも珍しい群生地となっています。

「クマガイソウはラン科の多年草。杉林に群生し一定方向に花が整列する。特徴は袋状の花弁。平家物語の登場人物熊谷直実（クマガイナオザネ）が矢から身を守るために背負った「母衣」（ホロ）に似ていることから名付けられたとされる。」（2024 年 4/25 産経新聞より）平成 29 年に発見され自生地と環境が似る初谷へ一部を移植されたものです。

大阪大学博物館は 1964 年に待兼山で発掘された、およそ 40 万年前のマチカネワニの化石や埴輪が展示されている他 600 点の学術標本資料が展示されています。

（B グループ 河合）

記

- 1 日 時 2025 年 4 月 24 日（木）小雨決行
（雨天中止の連絡は前日午後 7 時メールでお知らせします。）
- 2 集合場所 能勢電鉄 妙見口駅 10 時 30 分
- 3 持ち物 弁当、飲み物、敷物、あれば携帯椅子 雨具 *お弁当はベンチなどのない広場です。
- 4 行 程 10:30 分発→初谷溪谷歩き 60 分→クマガイソウ群生地 11:30 着→12:00 発
12 時 30 分（昼食）13:00 発→妙見口駅 13:30（トイレ）妙見口駅発 13:34
石橋阪大前駅 14:08 着（トイレ）阪大博物館着 14:30→見学 45 分→15:15 阪大内で解散
- 5 注意 初谷溪谷は、ほぼ平坦な広い道ですが足元は自然な道で小石がゴロゴロしています。
登山靴かハイキング用の底が硬い靴がおすすめです。
道からクマガイソウ群生地は山道を 20 メートルほど登ります。
- 6 歩行ルート



群生クマガイソウ



クマガイソウ



大阪大学マチカネワニ